令和７（２０２５）年度　大学院　修士課程（一般入試）学力検査問題・解答紙

試験科目名
人間生活デザイン

受験番号

（１６枚中１枚目）

※以下の必答問題 2 問（計 100 点）に加え，3 ページ以降より選択問題 2 問を選択し（各 50 点），計 4 問を解答せよ．

＜必答問題－１＞

次の語群から 3 語選択し，選択した語が気候変動によって変化する人間生活において果たす役割について 800 字程度で論述せよ．なお論述に際しては，選択した 3 語に下線を引くこと．＜60 点＞

語群：インダストリアルデザイン，広告，高齢化社会，感性，科学技術，インクルーシブデザイン，環境適応能，シミュレーション，創造性

出題意図

気候変動による人間生活の変化を題材にして、人間生活デザインコースに関連するキーワードを適切に用いながら長文を論理的に構成する能力を問う問題である。

令和７（２０２５）年度　大学院　修士課程（一般入試）学力検査問題・解答紙

試験科目名
人間生活デザイン

受験番号

（１６枚中２枚目）

＜必答問題－２＞

次の語群から 5 つ選択し，各 80 字程度で説明せよ．＜40 点，各 8 点＞

語群：最尤推定，直立二足歩行，ペイドパブリシティ，コルチゾール，パーソナルスペース，視細胞，軸受，ウィキッド・プロブレム，ホワイト・キューブ，廃用性症候群，アフォーダンス，最小条件集団，パブリックアート，最小二乗法，伝動装置，身体寸法，シナプス，手続き的公正

選択したキーワード 1 [　　]

30
60
90

選択したキーワード 2 [　　]

30
60
90

選択したキーワード 3 [　　]

30
60
90

選択したキーワード 4 [　　]

30
60
90

選択したキーワード 5 [　　]

30
60
90

出題意図

この問題は、人間生活デザイン科目の出題分野全体に関する知識の理解度を確認することが目的である。指定された文字数を踏まえて、正確かつ具体的に説明できるかどうかを重視して評価する。

令和７（２０２５）年度　大学院　修士課程（一般入試）学力検査問題・解答紙

試験科目名
人間生活デザイン

受験番号

（１６枚中３枚目）

＜選択問題－１＞

脳波の測定と認知課題を用いてヒトの表情認知の性差について調査する研究を行いたい。どのような実験計画を立てればよいか説明しなさい。（500 字以上）＜50 点＞

出題意図

脳波を用いたヒトを対象とした実験手法の理解度を問う問題である。脳波測定における注意点（信号の振幅が小さいため生体内外のノイズを低減させる環境や処理の必要性）や脳波で測定できる指標（周波数パワー、事象関連電位）の理解、実験計画法にのっとり適切な実験計画と解析計画を立てるための知識を有するかを問う。倫理申請などの実験の準備状況からの記述も加点対象とする。

25
100
200
300
400
500
600

裏面には解答しないこと。裏面に解答しても採点しません。

試　験　科　目　名
人間生活デザイン

受　験　番　号

＜選択問題－２＞

長時間のジョギング（ゆっくりとした走行）の循環反応および代謝反応について説明しなさい。（500 字以上）

＜50 点＞

出題意図

人間工学において、人間の身体活動時の負担を計測・評価するためには、その生理応答、特に循環と代謝反応の基本を理解しておく必要がある。本問題では、長時間の中強度身体活動を例として、有酸素性代謝および心臓血管応答の特徴を説明できるかを問う。

25
100
200
300
400
500
600

試　験　科　目　名
人間生活デザイン

受　験　番　号

＜選択問題－３＞（次紙も解答に使用してよい．裏面は使用しないこと．）

ある感染症の感染について，確率を用いて考える．この感染症は，免疫を持たない非感染者（以下，感受性者）1 人と感染者 1 人が会食を行うと，確率 β $(0 < \beta < 1)$ で感受性者が感染する．また，感染者同士や感受性者同士で会食をしても何も起こらない．いま，A さんの住む市の人口における感染者の割合は α $(0 < \alpha < 1)$ であるとし，そのことから X 市の住人がこの感染症に感染している確率を α と置く．＜50 点＞

(1) A さんがある感染者と会食をした後で，A さんが感染していることが分かった．A さんがこの会食によって感染した確率を α，β を用いて表せ．

(2) A さんが同じ市内に住むある友人と会食をした後で，A さんが感染していることが分かった．A さんがこの会食によって感染した確率を α，β を用いて表せ．

(3) A さんが同じ市内に住む n 人の友人と 1 人ずつ順番に会食をした後で，A さんが感染していることが分かった．A さんがこの一連の会食によって感染した確率を α，β を用いて表せ．

出題意図

この問題では感染症を題材として、実際の現象を適切に定式化する能力、および確率論の基礎を用いて所望の確率を計算する能力を問う。解答の過程で用いる変数を適切に定義しているかなど、数式を用いたコミュニケーション能力も重視する。

試　験　科　目　名
人間生活デザイン

受　験　番　号

＜選択問題－３＞の解答紙（続き）

試　験 科 目 名
人間生活デザイン

受　験　番　号

＜選択問題－４＞

広告表現におけるストーリーテリングの重要性について、具体例を交えながらあなたの考えを述べて下さい。＜50 点＞

出題意図

・ストーリーテリングの役割や効果について基礎的な知識を問うとともに、広告戦略としての有効性についてどの程度考察できるかを見たい。
・具体的な広告事例を示し論理的に言説明する。
・論理的で説得力のある文章表現で自身の考えを明確にしている。
・新しい可能性や課題について独自の視点が示されている。

試　験　科　目　名
人間生活デザイン

受　験　番　号

＜選択問題－５＞

進化における自然選択について概説し、ヒトにおける正の自然選択が働いた可能性が高い表現型の例を、自然選択が生じた理由を含めて説明せよ。（500 字以上）＜50 点＞

出題意図

生理人類学において、重要なヒトの進化・適応の過程に関連する自然選択について、基礎的な知識を問うとともに、ヒトの多様な表現型が自然選択により生じた可能性があるものについて例を挙げ、その選択圧と表現型の関連を理論的に説明できるかを問う。

25
100
200
300
400
500
600

試　験　科　目　名
人間生活デザイン

受　験　番　号

＜選択問題－６＞

仰臥位から立位への体位変換における循環調節応答について概説し、暑熱時の起立性低血圧が多い理由について説明せよ。（500 字以上）＜50 点＞

出題意図

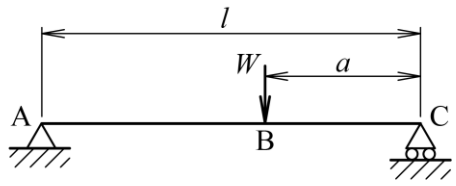
姿勢変化時の生理応答および暑熱時の生理応答に関する人体生理学の基礎的な知識を問うとともに、それらが合わさった時の循環調節メカニズムを論理的に考察し説明できるかを問う。

25
100
200
300
400
500
600

試　験　科　目　名
人間生活デザイン

受　験　番　号

＜選択問題－７＞（次紙も解答に使用してよい．裏面は使用しないこと．）

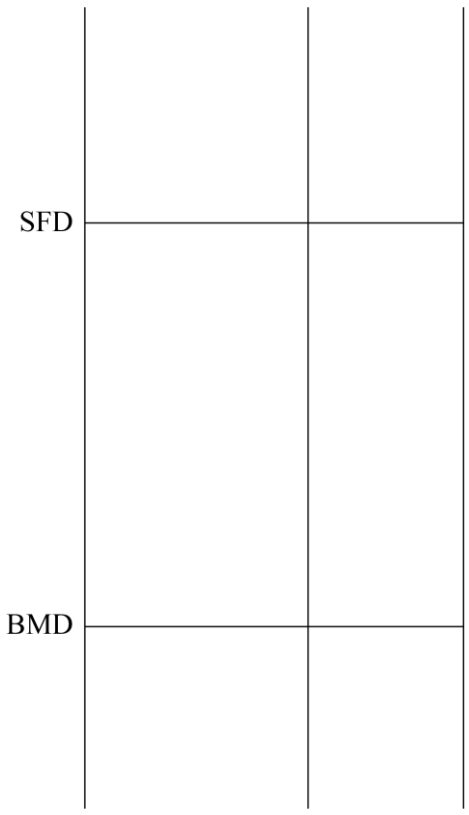


設計したベンチを，図のように，はり構造としてモデル化した．図は，ベンチの B の位置に体重 W の人が座った様子を示している．はりの長さは図に示した通りである．以下の問いに答えよ．ただし，はりの縦弾性係数（ヤング率）は E，断面積 A，断面二次モーメント I，断面係数 Z とする（これらの変数すべてが解答に必要とは限らない）．なお，はりの自重は無視してよい．＜50 点＞

(1) A 点，C 点の反力 R_A, R_C の大きさと，その方向を答えよ．

(2) せん断力図（SFD）および曲げモーメント図（BMD）を図示するとともに，このはりに生じる曲げモーメントの最大値 M_{max} を求めよ．なお，導出過程も示すこと．

(3) はりに生じる応力の最大値 σ_{max} と，その位置をできるだけ詳細に答えよ．



出題意図

この問題では、静定構造物に作用する荷重に対するせん断力（SFD）と曲げモーメント（BMD）の分布を求め、図示する能力に加え、構造物における応力分布の理解と解析能力を確認する。特に、最大曲げモーメントが発生する位置や最大応力が生じる部位を特定する能力を重視している。この問題を通じて、実際の設計や解析において構造物の安全性を評価するために必要な基礎的な力学的知識を身につけているかどうかを確認する。

受　験　番　号

＜選択問題－７＞の解答紙（続き）

試　験　科　目　名
人間生活デザイン

受　験　番　号

＜選択問題－８＞

アメリカの哲学者チャールズ・サンダース・パースによれば、我々が日常的に行っている推論は、演繹と帰納とアブダクションに分類することができるといいます。演繹とは一般的・普遍的な命題や法則から論理形式に頼って、特殊命題としての結論を導き出す推論です。帰納は個々の具体的な経験的事例から、一般的な命題や法則を導き出す推論です。アブダクションは驚くべき事実からもっともらしい説明理由としての仮説をひらめくような推論です。以下の設問に答えてください。＜10 点＋40 点＝50 点＞

１）　帰納の具体的な例を説明してください。＜10 点＞

２）　これらの推論について学ぶことは、商品をデザインする際にどのように役に立つでしょうか。あなたの考えを論述してください。＜40 点＞

出題意図

この問題では、チャールズ・サンダース・パースの推論の分類についての基礎的知識を理解しているかを確認し、その知識がデザインの実践にどのように役立つかを論理的に説明する能力を確認する。特に、演繹、帰納、アブダクションの各推論方法の特徴や相互関係、推論の組み合わせによる効果や応用可能性などについて、具体例と結びつけて論じる力を問う。

＜選択問題－９＞

行動適切性判断は当該社会での規範理解を反映し，その逸脱はムラ社会では社会的排斥を招くなど，個人の社会適応を考える上で重要な概念である．社会的葛藤状況下での「対人行動適切性判断」に関する以下の前提および仮説を手がかりに，設問(1)～(3)に答えよ．＜50 点＞

■ 前提

対人行動適切性判断の基準：ある社会成員全員の利益が向上する社会状態へ向けた合理的行動選択であるか.

社会的葛藤構造：

交換葛藤：自らが得（損）をする選択により，相手が損（得）をする.

調整葛藤：社会成員全員の利益が向上する選択をするためには，誰かが相対的に損をしなければならない.

社会関係性：

固有性：社会的流動性の程度.

上下役割：利得的な上下格差を受け入れるべき明確な役割の有無.

■ 仮説

人々に適切と判断される葛藤解決方略は，社会的葛藤構造と社会関係性の２つの観点により以下のように区別される.

- 交換葛藤の場面では，社会的流動性の低い社会では利他的な，社会的流動性の高い社会では互恵的な振る舞い.
- 調整葛藤の場面では，上位者には服従的に，上下役割が明確でない他者には論理性や正しさに基づく振る舞い.

(1) 上記仮説に論理整合的な選択肢を 3 つ選び丸で囲め.

解答：A，B，E

A. 権力者と服従者という役割は，その役割の効力が及ぶ範囲で，行動選択に議論が不要な点で効率的である.
B. ムラ社会では，ムラ外での個人の生存が難しく固有性の高い関係性であり，無条件で協力する方略が適応的である.
C. 交換葛藤の場面で社会成員全員の利益を最大化するには，個人利得を最大化を目指す方略が有効である.
D. 論理性など当事者外からの規範の受容による葛藤回避の方略は，当事者間の役割が明確な時にのみ有効である.
E. 流動性の高い社会では，資源保有者とすぐに関係を開始するため，相手が協力する限りで協力する方略が適応的である.

(2) 上記仮説に基づき，想定する葛藤状況と人々に適切と判断される対人行動の例を具体的に 1 つ挙げ，その理由を示せ.

想定する葛藤状況と対人行動：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

理由：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

出題意図

提示された抽象的概念や判断枠組を理解する能力と、示された仮説を具体的な場面に的確に対応づけて運用する能力を問う設問である。

(3) 上記仮説が正しいにも関わらず，(2)の行動が人々に適切と判断されない場合について，考えられる理由を示せ.

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

出題意図

仮説の限界を論理的に考察する能力を問う設問である。

※参考：清水裕士,小杉考司，対人行動の適切性判断と社会規範―「社会関係の論理学」の構築―，実験社会心理学研究, vol.49(2)，実験社会心理学研究, 2010

受　験　番　号

＜選択問題－１０＞

以下に示す５つの都市環境装置の分類系名を回答し、デザインや設置における留意事項を指定した語句を用いて説明してください。＜10 点×5 問＝50 点＞

1．ごみ箱
分類系名：　　系
デザインや設置における留意事項の解説【使用語句】ゴミ回収のタイミング、分別、投入口、カラス等からの被害
2．キオスク
分類系名：　　系
デザインや設置における留意事項の解説【使用語句】仮設型と常設型、牽引、飲食系、エネルギー設備
3．観光案内サイン
分類系名：　　系
デザインや設置における留意事項の解説【使用語句】デジタルサイネージ、誘導サイン、配置、維持管理
4．バス停
分類系名：　　系
デザインや設置における留意事項の解説【使用語句】維持管理、広告収入、路線図、隣接するストリートファニチャー
5．腰かけ
分類系名：　　系
デザインや設置における留意事項の解説【使用語句】単座型、連座型、ユニット、素材

出題意図

パブリックデザインの主なデザイン対象となるストリートファニチャーに関する基礎的な知識の有無を確認する。本問題では、具体的な対象を上げ、デザインや設置検討時に考慮すべき事項の回答を求めることで、それぞれの対象物がどんな事象と関連していると考えているのか、やデザイン対象物がその場や利用者に設置後も含めどんな影響を及ぼすと考えるのかなどをみることができるため、デザイン領域への理解や関心、デザイン対象物のみでなく関連事項まで含めた思考ができるかどうかを見極めることができる。

受　験　番　号

＜選択問題－１１＞

総合病院の待合室に設置する椅子の寸法は、病院に訪れる方の身体寸法に基づいてどのように設計すべきか説明しなさい。（500 字以上）＜50 点＞

出題意図

人間工学に基づいた製品設計の基本的理解を問うことを目的としている。特に、身体寸法データの活用方法、ターゲットユーザー（患者・高齢者など）の特性を考慮した設計の重要性、及び公共空間における快適性・安全性の配慮に関する理解を評価する。
また、設計に際して「設計寸法（人体寸法＋物品寸法＋ゆとり寸法）」や、「高齢者や身体的制約のある人への配慮（座面高さ・奥行・肘掛けの有無など）」に触れられるかも評価対象とする。実際の設計では、使用者の多様性を尊重し、ユニバーサルデザインの視点を取り入れることが重要であるため、それらに言及しているかどうかも評価の観点とする。

25
100
200
300
400
500
600

試　験　科　目　名
人間生活デザイン

受　験　番　号

＜選択問題－１２＞

概日リズムとは何で、それが乱れるとどのような影響があるか？概日リズムの乱れを防ぐには日常生活でどのようなことに気を付ける必要があるかを説明しなさい。（500 字以上）＜50 点＞

出題意図

人間の行動の特徴を生理的に理解することは、ウェルビーングをデザインする上で重要である。この出題では、その一例として、概日リズムや睡眠に焦点をあてた。現代の 24 時間化した情報社会において、様々な年代や職種で概日リズムや睡眠が乱れており、それがヒトの健康にも影響していることが多くの研究で報告されている。この出題では、この現状とその背景を理解し、どのような解決策が考えられるかについて、科学的なエビデンスを踏まえて論理的に記述できるかを問うことを目的としている。

25
100
200
300
400
500
600